

令和6年度 看護学概論 (62回生)

授業科目	看護学概論	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次(時期)	1年 前期	単位数/時間	1単位/30時間
講師名	竹山 やすえ	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院
		資格・免許	看護師、専任教員
	畠山 なを子	所属・役職	
		資格・免許	看護師、認定看護管理者 幹部看護教員養成課程修了
ねらい	看護学全般の概念をとらえ、看護の機能と役割について学ぶ		
到達目標	1. 看護の基本的概念、役割と機能について理解できる。 2. 看護の歴史的背景から、現代社会における看護の意義と役割を理解できる。 3. 対象を統合体としてとらえ、看護の視点から健康の概念について説明できる 4. 主な関連法規と、看護実践の法的根拠について理解できる 5. 代表的な看護理論の概要を理解し、実践への活用について考えることができる		
事前学習内容	講師から配布された資料に事前に目を通し、指示された課題に取り組んでください		
成績評価の方法	1.終講試験 2.レポート 3. 授業態度、グループワークへの参加度、発言		
使用テキスト 参考書	1. ナーシンググラフィカ 基礎看護学①看護学概論(メディカ出版) 2. 看護職の基本的責務(日本看護協会出版会) 3. 看護六法(新日本法規) 4. よくわかる看護職の倫理綱領(照林社) 5. 看護の基本となるもの(日本看護協会出版会) 6. 看護覚え書(現代社) 7. 看護理論(南江堂)		
回 数	授業概要	授業方法	担当
1	序章 看護の責務とその広がり ※4/17(水)は、看護学概論(メディカ出版)、看護職の基本的責務(日本看護協会出版会) の2冊を使用	講義	竹山
2	看護への導入(1)	講義	竹山
3	看護への導入(2)	講義	竹山
4	看護の対象とその理解	講義	竹山
5	ライフサイクルと健康	講義	竹山
6	健康と病気におけるウェルネス(安寧)の促進	講義	竹山
7	健康のとらえかた	講義・GW	竹山
8	看護における法的側面(1)	講義	竹山
9	看護における法的側面(2)	講義	竹山
10	看護理論とは、看護理論の分類	講義	畠山
11	看護実践の基盤となる理論 ①ナイチンゲールの看護理論	講義	畠山
12	看護実践の基盤となる理論 ①ナイチンゲールの看護理論グループワーク	発表・討議	畠山
13	看護実践の基盤となる理論 ②ハンダーソンの看護理論	講義	畠山
14	看護実践の基盤となる理論 ②ハンダーソンの看護理論グループワーク	発表・討議	畠山
15	人間関係の理論 ③トラベルビー・ペプロウの看護理論	講義・討議	畠山
16	看護援助の理論・ケアリング ④ワトソン、バナーの看護理論	講義	畠山
終講試験	竹山(60点)、畠山(40点)の合計(100点) 60分 全ての講義終了後に試験を実施		
履修上の留意点	・主体的に授業に参加しましょう。・理解できない個所を明確にして次の講義に臨みましょう。 ・関連する文献を読み、看護の概念について自ら考えを深められるようにしましょう。 ・授業内容は進行状況により変更する場合があります。毎回の講義終了時、次回の授業内容について説明します。 ・グループ討議・プレゼンテーションに参加し、看護理論について考えを深められるようにしましょう。 ・事前課題や事後レポート課題は、期日を守って提出してください。		